



ギャバロン茶は血圧を下げる効果が期待できます。

ギャバロン茶とは

摘んだ茶葉を蒸す前に、しばらくの間窒素ガスの中に保存します。それから、通常の製茶加工を行うことでγ(ガンマ)アミノ酪酸が増加する「ギャバロン茶」となります。ギャバ以外の成分は普通のお茶と変わりありません。独立行政法人食品総合研究所の農学博士の津志田 藤二郎氏が研究開発しました。

ギャバロン茶歴史

「ギャバロン茶」は、20数年前に製品として出来ました。それまでになかった、新しいタイプのお茶です。普通は刈り落とされてしまう事の多い「二番茶・三番茶」を有効活用する方法を探しているうちに、生の茶葉を窒素ガスの中に入れて保存し、緑茶を製造してみたところ、独特の香りを持つ緑茶ができました。それがつまり、アミノ酸の一種である「ギャバ」を大量に含んだ緑茶だったのです。このお茶は、主成分である「ギャバ」と「ウーロン茶」を合わせて、新しく『ギャバロン茶』と名づけられたのです。さらに詳しく説明させていただきますと緑茶の葉のなかの成分のテアニンがグルタミン酸とエチルアミンに分解され、さらにグルタミン酸は、特異な環境下では異常な代謝が行われることを見つけました。酸素がない状態や窒素ガス中に入れておくと(つまり嫌気的な環境に生葉をおく)、グルタミン酸がほぼ100%近くγアミノ酪酸に変わるということがわかったのです。

ギャバロン茶効果

γアミノ酪酸をネコやモルモット、犬などさまざまな動物に与えた結果血圧を下げる作用があることが分かりました。ヒトに対しての実験ですが、昭和60年頃から大妻女子大学の森先生が病院のお医者さんと共同で通院患者に対し日常のお茶を飲むような形で行いました。日常の生活と同じようなレベルで30人くらいの患者にギャバロン茶を飲ませた実験で、半数の患者の血圧が改善されたというデータが出ています。それで、食生活の中で普通に緑茶と同じように飲んでいただければ血圧が改善できるかなという期待が有ります。

ギャバロン飲み方

ギャバロン茶はきまった飲み方は有りませんが有効成分をしっかりと抽出させるためにリーフタイプと粉末タイプ共に出来るだけ熱いお湯をご使用下さい。リーフタイプは普通の家庭用の急須だと59~89を使用してゆっくり成分を濃いめに抽出させてお飲み下さい。粉末タイプはゆのみに小さじの3分の1位入れて熱湯で作ったらすぐお飲み下さい。作り置きしないで下さい。

注 ギャバロン茶は緑茶製品ですので何杯お飲みいただいても副作用は有りませんが医薬品では有りません。

<p>61511 リーフタイプ 150g入</p> <p>gabalon-leaf</p> <p>¥1,080(税込)</p>	<p>61310 粉末タイプ'130g入</p> <p>gabalon-pow</p> <p>¥1,080(税込)</p>	<p>61211 ティーバッグタイプ22p入</p> <p>gabalon-tb</p> <p>¥1,080(税込)</p>
---	---	--

